

2021年度新型コロナウイルス対応支援助成〈随時募集・7次〉資金分配団体公募 採択には至らなかった団体・事業 一覧

(全6事業、団体名五十音順) 2022年3月現在

団体名	所在地	申請事業名	対象地域	事業概要
特定非営利活動法人地球と未来の環境基金 <コンソーシアム申請> ・社会福祉法人埼玉福祉会 ・ソシオエンジニアリング株式会社	東京都	障がい者の雇用を生み出す失業者を救う農福連携イチゴ栽培参入支援事業	東京、埼玉	コロナ禍により、雇い止め等を受けた障がい者の就業先を確保するため農福連携による農業分野での就業機会を創出、障害者の雇用の場を確保する。市場的に可能性が高いイチゴ栽培手法の技術研修、育種・栽培指導や福祉人材の活用教育、経営指導を支援する。継続的、安定的に収入を得られる福祉の仕事を増やす。
特定非営利活動法人北海道NPOファンド	北海道	ポストコロナの社会的居場所形成	北海道	社会的少数弱者は社会制度の狭間で救済されず、また地域社会での十分な理解が得られないことにより、日常的に孤立し、困難を抱えている。コロナ禍では数少ない当事者同士の交流の場が開催されなかったり、家庭のストレスが高まることで家族間の関係性が悪化したりと、生活圏内に安心できる居場所を失うことにつながっている。これらを踏まえ社会的少数弱者が社会との接続を持続できるような相談受付・情報提供・交流事業などの支援活動を「居場所」と総称し、この活動の充実を図る。社会的少数弱者が非常時であっても安心して社会生活を送れるように、恒常的に自分の望ましい「居場所」が一か所以上存在する社会が実現することを目指す。
公益財団法人みらいファンド沖縄	沖縄県	コロナ禍のパフォーミング・アーツ支援	沖縄県	課題に対し2つの事業を募集する。1つは今後もパフォーミング・アーツ従事者の目標となる「現場」の開発。想定しているのは、沖縄発のネット配信プラットフォームの開発。従事者には「現場」の再建が急務、先行きが不透明な中、当面現実性のある現場はネット配信ジャンルだと考える。また、2つ目は文化芸能、パフォーミング・アーツ従事者の社会的地位向上、セーフティネットの整備を目指すパフォーミング・アーツ従事者の事業協同組合、職業別組合(ギルド)を設立計画の策定。技術者も含めた包括的な職能団体の確立により、契約、賃金、補償など労働環境の整備を目指すものとした。最終的には行政へのアドボカシー活動へとつなげていきたい。
公益財団法人わかやま地元力応援基金	和歌山県	和歌山県における女性の就労機会創出事業	大阪南部、和歌山県	本事業ではコロナ拡大の影響で働く機会や収入を失った女性が、働く機会を得て、金銭的・心理的に生活が安定することを目的とする。助成対象は和歌山県内の中小企業や公益活動団体、NPO等とし、地域の雇用、特にコロナの影響を強く受けた女性の雇用の回復を促進する。また助成対象には雇用だけでなく事業を通じて和歌山県内の課題解決に寄与することを求め、シングルマザー、若年女性が、仕事の機会を得て生活を安定させられることなど、和歌山県内の課題に対して、取り組みが拡充し課題解決に寄与する。
一般社団法人RCF <コンソーシアム申請> ・オイシックス・ラ・大地株式会社 ・ココネット株式会社	東京都	生活困窮世帯の子ども・若者に対する食支援	全国	本事業は生活困窮世帯の子ども・若者に対して活動している団体を実行団体とし、食材物資調達・保管・配送という一連の機能をアウトソーシング提供することで各団体の財源・人員面の課題を解決し、カバー率引き上げを図るものである。これにより、日本全体の生活困窮世帯の子ども・若者へ食支援を行き届かせることを目指す。また各団体へ向けて、食支援を生活困窮の根本的な解決支援へ波及させるアウトリーチ支援及び、本事業後の財政強化に向けた新規事業立案支援等を行うことで、生活困窮世帯が抱える根本的な課題解決へ寄与する事業とする。
一般社団法人SINKa	福岡県	子ども若者、生活困窮者応援笑顔創出事業	福岡・鹿児島、九州	福岡県・鹿児島県を中心とした九州の子ども、若者、生活困窮者に対し、女性視点を含めた多様性を考慮しつつ学習や食、イベント等の提供による心の拠り所となる居場所・仲間作りや、オンライン等も活用した交流の場の創出などを通じてコロナ長期化によるストレスを感じている子どもや孤立した若者の意欲を喚起し、学習機会確保や精神的な安定につなげる。同時に、コロナでの経済的な影響が大きい親への就労支援、生活・個別相談なども含めた包括的な支援を行い、家庭内DVを防ぎ就労準備を行う。多種多様なコミュニティを構築し、困難を抱える家庭に支援が届き、活動の事業化への道筋をつけ、モデル化して九州で横展開できる土台を構築する。